

2025年12月期 第2四半期 決算説明資料

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード：3788（東証プライム）

2025年Q2 エグゼクティブサマリー

業績

- **過去最高の第2四半期連結売上高** を達成
- 連結営業利益は Q1で失速したものの **回復基調**
- 「電子印鑑GMOサイン」は**営業黒字を継続**

新商材

- グローバルで **VMC**（企業ロゴ所有証明書）の受注開始
- 国内企業への **eシール** の導入が決定
- **C2PA**（電子透かし）関連の実証実験を開始

01	 持続的価値創造の原動力	04
02	 2025年 第2四半期決算概要	13
03	 事業概況	18
	電子認証・印鑑事業	19
	クラウドインフラ事業	35
	DX事業	40

※説明動画は以下のページよりご視聴ください
https://www.gmogshd.com/ir/library/financial_report

01 世界トップ4の電子認証局を運営

02 持続的成長を支える22のストック型事業

03 230を超える国と地域でサービス導入実績

世界トップ4の電子認証局を運営

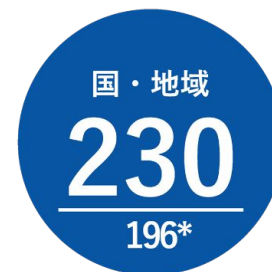
あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



長年にわたる
運用実績



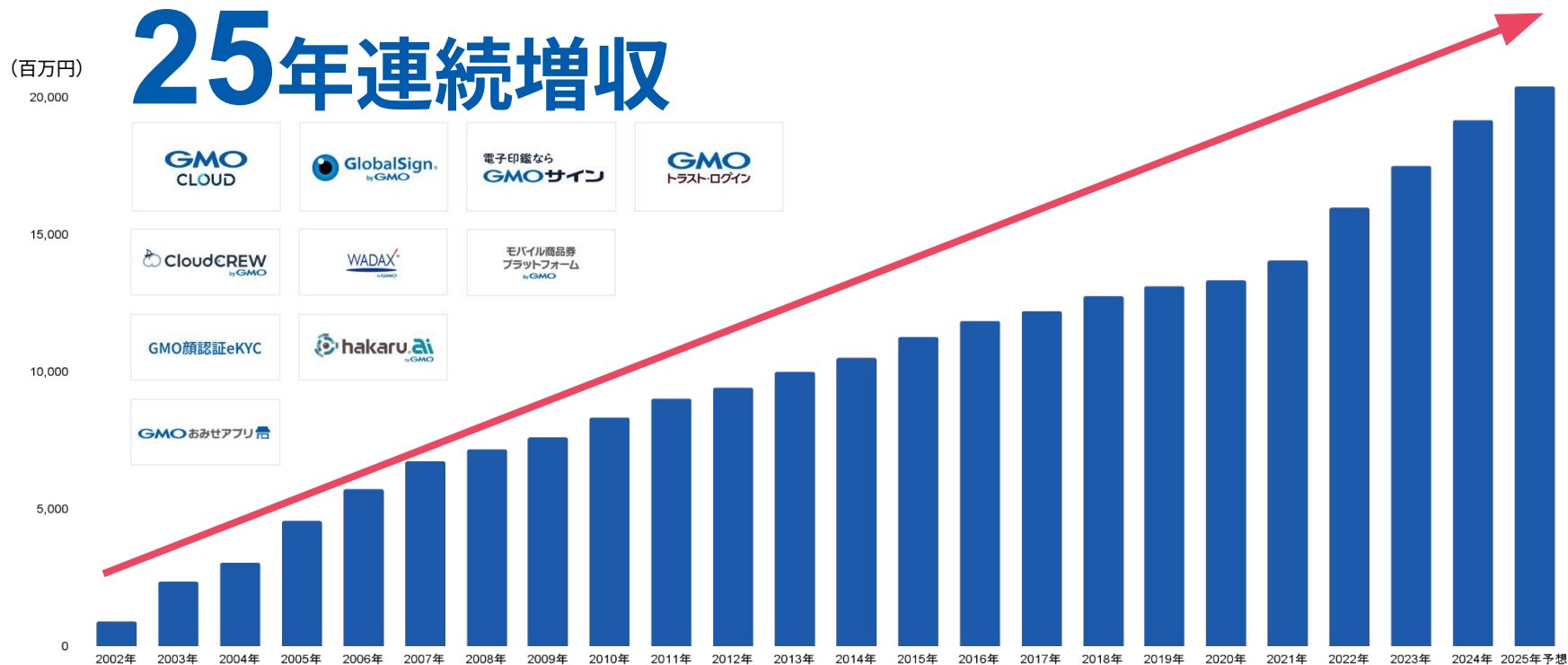
グローバルで
シェアを持つ認証局



SSLサーバー証明書
提供国・地域

*世界の国数：196
(2024年)

持続的成長を支える22のストック型事業



持続的価値創造の原動力

持続的成長を支える22のストック型事業

健全な財務体質と、
成長を支える
キャッシュ創出力

自己資本比率

52.5%

ネットキャッシュ

54億円

営業キャッシュフロー

27億円

営業キャッシュフローマージン
14.5%

自己資本比率 : 「純資産÷総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。

ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。

営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

※2024年12月末現在

グローバル展開



世界の各拠点から約230の国・地域にサービスを提供

持続的価値創造の原動力

グローバル展開



グローバル企業に、認証技術・SSL証明書などを提供

持続的価値創造の原動力

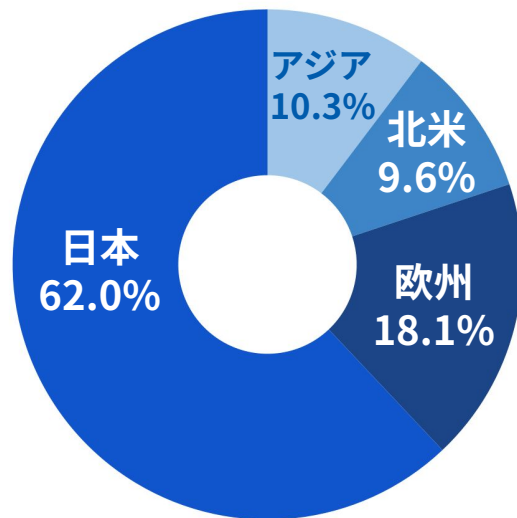
グローバル展開

売上高

海外比率：38.0%（1,911百万円）

（百万円）

日本	3,123
北米	483
欧州	909
アジア	519
合計	5,034



パートナー(従業員)数

海外比率：44.2%（443名）

（名）

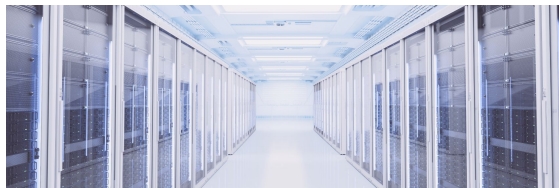
日本	560
北米	45
欧州	142
アジア	256
合計	1,003

2035年、売上1,000億企業へ



＜重点成長分野＞ 電子認証・印鑑事業

圧倒的No.1のストックサービスへの基盤固めと、グローバル拠点の継続的な成長実現を目指すべく、経営資源を集中し成長循環の活性化に取り組む



＜持続成長分野＞ クラウドインフラ事業

重要な安定収益源としてマネージドサービスによる売上拡大と、既存顧客との関係強化による利益拡大および業務効率化により、収益体質の強化を通じた着実な利益創出を図る



＜次期成長分野＞ DX事業

次世代の取り巻く環境へ対応するための技術研究と開発活動、および未知なる領域に向けての様々な取り組みにより、新たな事業領域への展開を目指す

セキュリティでインターネットの安全を支える

AI・クラウド活用で企業のDXを支援

子育てサポート企業として厚生労働省の「くるみん」認定を取得

働きやすい職場を実現するために策定した行動計画に基づき、男性社員の育児休業取得率向上、女性社員の育児休業取得率の向上を目指した各種施策が評価され、本認定を取得いたしました。今後もESG経営の一環として、仕事と育児の両立に向けた取り組みを積極的に推進するとともに、全社員がいきいきと活躍できる職場環境の実現を通じて、持続可能な企業価値の向上と社会課題の解決に貢献してまいります。



「ESG基本方針」の策定

すべてのステークホルダーの皆さまに、当社のサステナビリティ推進方針や考え方・目標・体制を理解していただくことを目的として策定を進めています。当社が事業活動を通じて社会の期待に応えていくうえで、持続可能性（サステナビリティ）を保つことは大切な経営課題であると同時に、当社の更なる事業機会創出にもつながると認識しています。
基本方針は今秋当社WEBサイトにて公開予定となっております。



2025年 第2四半期決算概要

2025年Q2 決算ハイライト

売上

過去最高の第2四半期連結売上高を達成

特定の海外大手顧客の受注減少あったものの重点商材の売上増加により、売上高は前年同期比4.0%増の9,944百万円

重点商材

高成長率を維持

「電子印鑑GMOサイン」 40.3%増

「GMOトラスト・ログイン」 29.4%増

※売上対前年同期比

営業利益

成長投資による減益も回復基調

電子認証局の新プラットフォーム開発継続などによりコストが増加するも、重点商材の好調な業績により回復基調。営業利益は前年同期比20.2%減の593百万円

2025年Q2 決算サマリー[累計比較]

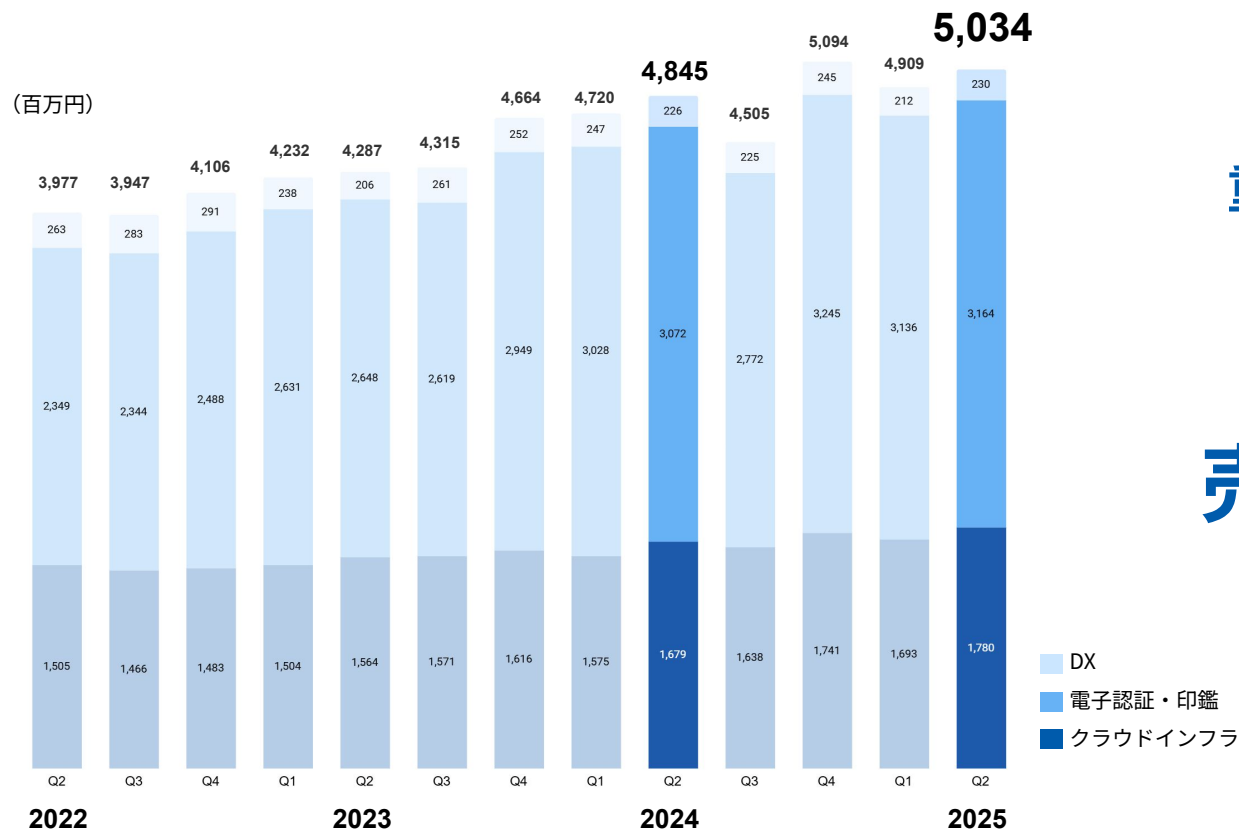
過去最高の第2四半期連結売上高を達成

下半期、重点商材ならびに新商材（VMC・認定タイムスタンプ）の販売強化

(百万円)	2024年Q2実績	2025年Q2実績	前年同期比	2025年通期予想	進捗率
売上高	9,566	9,944	+4.0%	20,397	48.8%
営業利益	744	593	△20.2%	1,434	41.4%
経常利益	810	577	△28.7%	1,422	40.6%
親会社株式に帰属する 四半期純利益	507	413	△18.5%	880	47.0%
EBITDA※	1,121	984	△12.2%	-	-

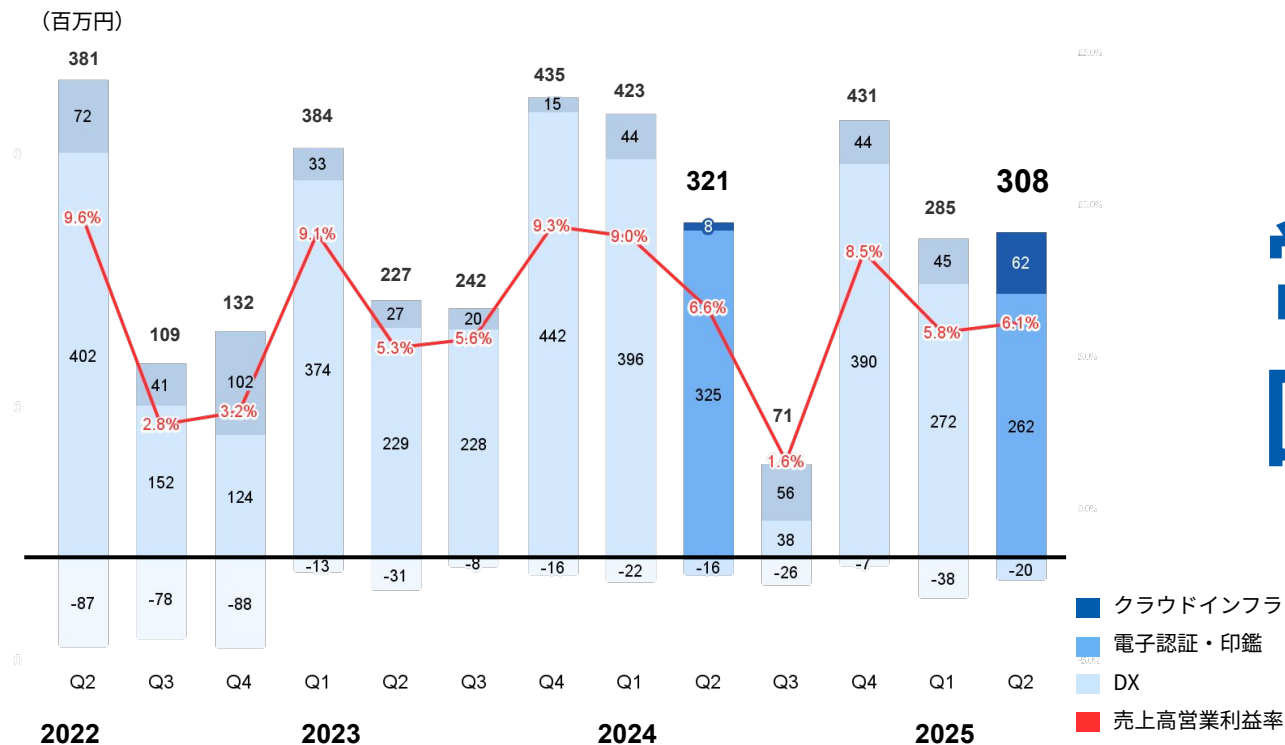
※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

四半期売上高推移



重点商材を中心に
第2四半期として
**過去最高の
売上高を達成**

四半期営業利益推移



営業利益 回復基調



事業概況



電子認証で通信・取引をまもる

電子認証・印鑑事業

電子認証局の技術・ノウハウを活かしたサービス群



インターネット上の身元証明機関「電子認証局」を自社運営
有償SSLシェア 🏆国内No.1🏆 🏆世界No.4🏆

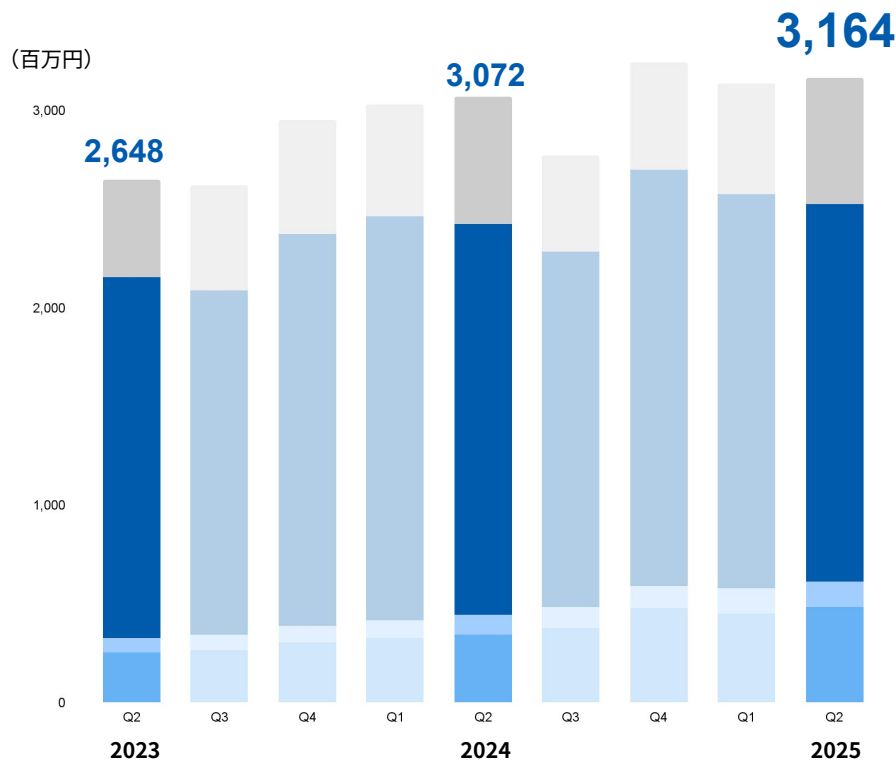
電子印鑑なら
GMOサイン

立会人型・当事者型すべての署名を提供する電子契約サービス
契約送信件数 🏆国内No.1🏆

GMOトラスト・ログイン

ログイン認証強化サービス
連携アプリ数 🏆国内No.1🏆

商材別四半期売上高推移



電子認証・印鑑事業	31億6,400万円 (対前年同期比 +9,200万円 +3.0%)
SSLサーバー証明書	19億1,100万円 (対前年同期比 -6,500万円 △3.3%)
電子印鑑GMOサイン (電子契約サービス)	対前年同期比 +40.3%
GMOトラスト・ログイン (ログイン認証強化サービス)	対前年同期比 +29.4%

- その他※
- SSLサーバ証明書
- GMOトラスト・ログイン
- GMOサイン

※ GMOトラスト・ログインおよび電子署名サービス（電子印鑑ソリューションDSS）、クライアント証明書等の売上高

電子認証事業 2025年Q2 四半期サマリー

盗聴・改ざん・なりすまし防止（SSL・暗号セキュリティ）

業績

- 国内のSSL発行枚数 **シェア42.6%に成長** 着実にシェアを拡大
- 海外の大手企業一社からの受注減少が一時的な業績鈍化の主たる要因

新商材（VMC・eシール）

- 国内外で**VMC**（企業ロゴ所有証明書）の受注を開始
- 歯科矯正のD2C企業へ、**eシール**を導入

PQC対応証明書

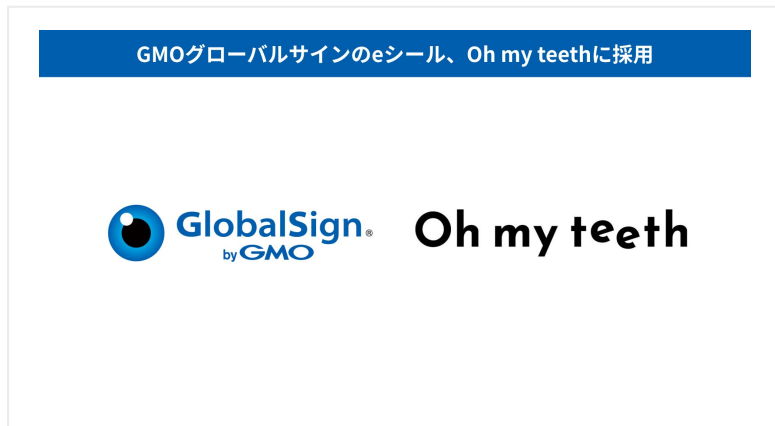
- **PQC（耐量子計算機暗号）対応** テスト用電子証明書の発行を開始
遠くない将来のセキュリティ脅威への備えを支援

VMC（企業ロゴ所有証明書）



- **グローバル**でVMC証明書を提供開始
- メールにロゴを表示させるために必須である「DMARC」設定を、国内では自社、海外ではValimail社と連携して提供

eシール



- 国産マウスピース矯正ブランド製造数No.1「Oh my teeth」の矯正サービス**電子同意書締結時**に採用
- D2C領域におけるユーザー同意管理にeシールを活用した**国内初の先進的な取り組み**

PQC（耐量子計算機暗号）対応テスト用電子証明書



- 現在各国政府が量子コンピューターに巨額投資
- 従来なら数千年かかる計算をわずか数分で処理可能で、現在広く利用されているRSAやECCと呼ばれる公開鍵暗号が破られる可能性が高い



- 量子コンピューターでも解読が困難な「PQC(耐量子計算機暗号)」を採用した**テスト用電子証明書発行開始**
- 官公庁や金融、製造、医療など機密性の高いデータを扱う分野を中心に、**将来的なセキュリティ脅威への備えを支援**

海外プレスリリース



- **2025年「Fortress Cybersecurity Award」暗号技術部門を受賞**
世界的に権威あるサイバーセキュリティ分野の表彰制度。
多様化するサイバー脅威からお客様のシステムとデータを守るソリューションを提供し続けている点が、業界から高く評価。



- **耐量子暗号ソリューション加速のための戦略的パートナーシップを発表**
米国「Quantum PKI」社と戦略的パートナーシップを締結。
PQCソリューションの提供をさらに加速。

電子印鑑 GMOサイン 2025年Q2 四半期サマリー

電子契約サービス

業績

- 売上高・ARRともに **40%成長** を継続
- **営業黒字**を継続

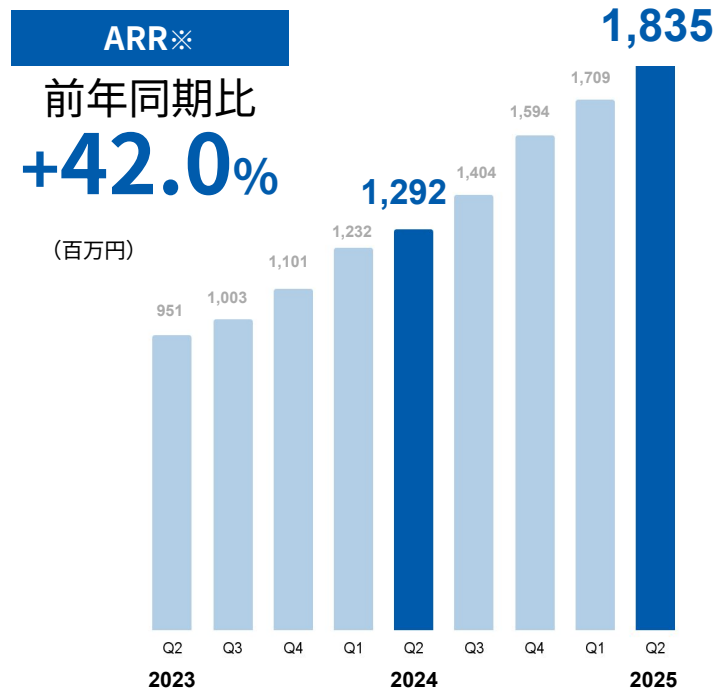
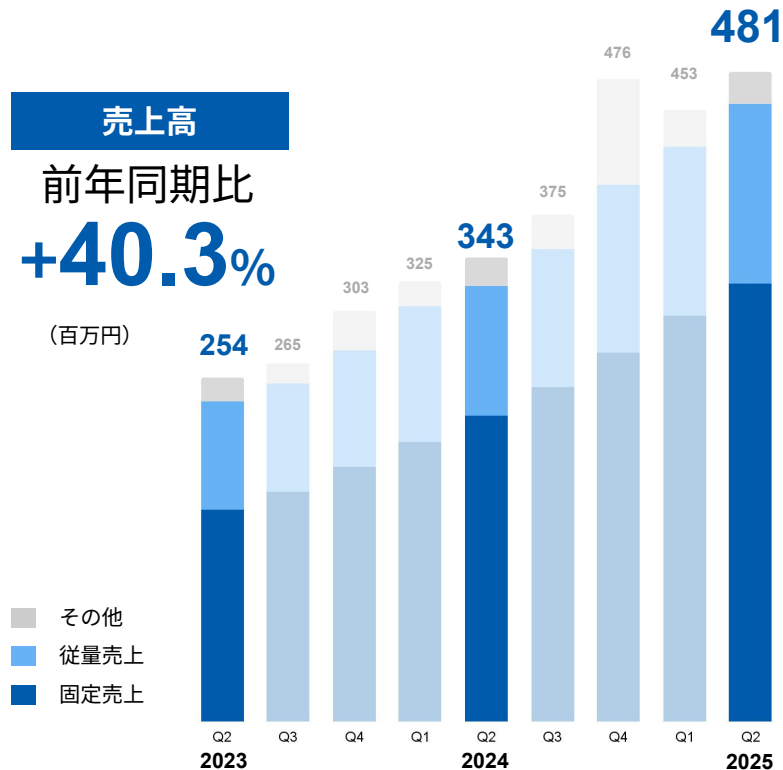
行革DX（電子公印）

- GMOサイン電子公印（自治体における処分通知の電子化）の導入数が順調に増加 9自治体(24Q4) → **18自治体(25Q2)**

お客さま対応の強化

- **導入支援サービス** による新規顧客層を拡大
- 精度97%のAIサポートにより**顧客満足度と業務効率化を両立**

四半期売上高・ARR推移



※ Annual Recurring Revenue の略称。

各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

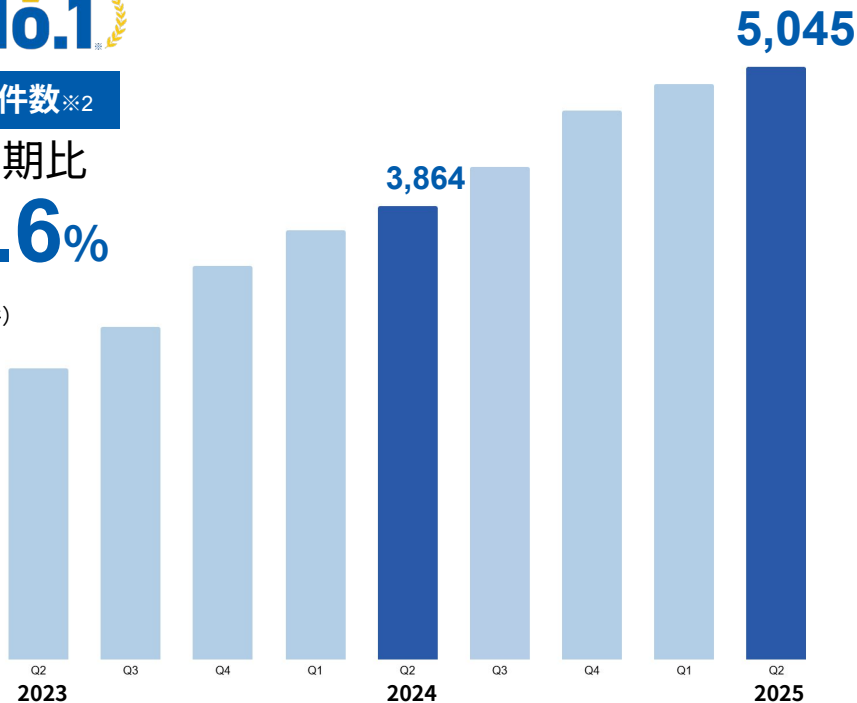
契約送信件数推移

契約
送信件数 **No.1**

契約送信件数※2

前年同期比
+30.6%

(千件)



約**75%**の
国内上場企業が
利用中

※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）

※2 四半期毎の契約送信件数を集計。2025年第1四半期における大量のテスト送信（無料）を除外して集計。

※3 2025年5月末時点「GMOサイン」利用企業数2,984社と2025年6月11日時点日本証券取引所の公式サイトで公表中の上場企業数3,953社から算出

電子公印とセキュリティ認証で自治体導入数でも No.1を目指す

自治体導入数

174※

導入自治体（一部抜粋）

東京都	神奈川県	群馬県	北海道	滋賀県
静岡県	山口県	大分県	熊本県	大阪府

取得済認証一覧

ISO/IEC27001（情報セキュリティ）

ISO/IEC27017（クラウドサービスセキュリティ）

ISMAP登録

SOC2 Type2保証報告書受領

JIIMA認証

LGWAN（総合行政ネットワーク）対応

※ 2025年7月1日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

お客さま対応の強化による顧客基盤の拡大

精度97%のAIチャットが業務効率化・顧客体験を向上
(公社)IT協会の「カスタマーサポート表彰制度」奨励賞を受賞

 奨励賞
公益社団法人企業情報化協会

電子印鑑なら
GMOサイン

 公益社団法人企業情報化協会

 GMOグローバルサイン・HD
GlobalSign

- 自社チューニングにより**精度97%**と高品質な対応が可能な**AIチャットボット**を活用
- **24時間365日体制**対応により潜在顧客含む**顧客満足度を向上**

電子印鑑なら
GMOサイン
神奈川県内の電子契約率 **約5割**
(全国平均約25%)

神奈川県内16自治体に広がる電子契約
DX普及の決め手は
サポート体制と地元企業の経営支援効果

茅ヶ崎市で
事業者の経営支援効果 **印紙税1,100万円削減**

印刷郵送や来庁等の **手間とコストを削減**

説明会や
電話サポート対応で **地元企業にも好評**

・神奈川県
・川崎市 ・小田原市 ・綾瀬市
・横浜市長官舎地区
・大和市 ・伊勢原市 ・海老名市
・厚木市 ・相模原市 ・大井町
・他3自治体

- 導入検討段階の自治体や契約相手方の地元企業向け**専用電話サポート窓口**を常設
- 導入準備期における資料作成や説明会開催、導入後のサポート、専任の担当者の設置等が**高評価**

契約企業（一部抜粋）

MIZUHO みずほ銀行

大和証券
Daiwa Securities

MUFG 三菱UFJ銀行

よろこびがつなく世界へ
KIRIN

BMW GROUP

LINEヤフー

kikkoman

Menicon

横浜銀行

東急リバブル

ORIX オリックス生命

MIZUNO

TIPNESS
フィットネスクラブ
ティップネス

in 鹿島
KAJIMA CORPORATION

ヤマト運輸

Francfranc

UNITED ARROWS LTD.

「心躍る」を
解き放つ HIS

PASONA

GO
移動で人を幸せに。

毎日コムネット

OPEN
HOUSE

NEDO

三井住友トラスト不動産

DAISO
ダイソー

CURRY HOUSE
CoCo壱番屋

MISAWA
ミサワホーム

KEIO 京王電鉄

CAINZ

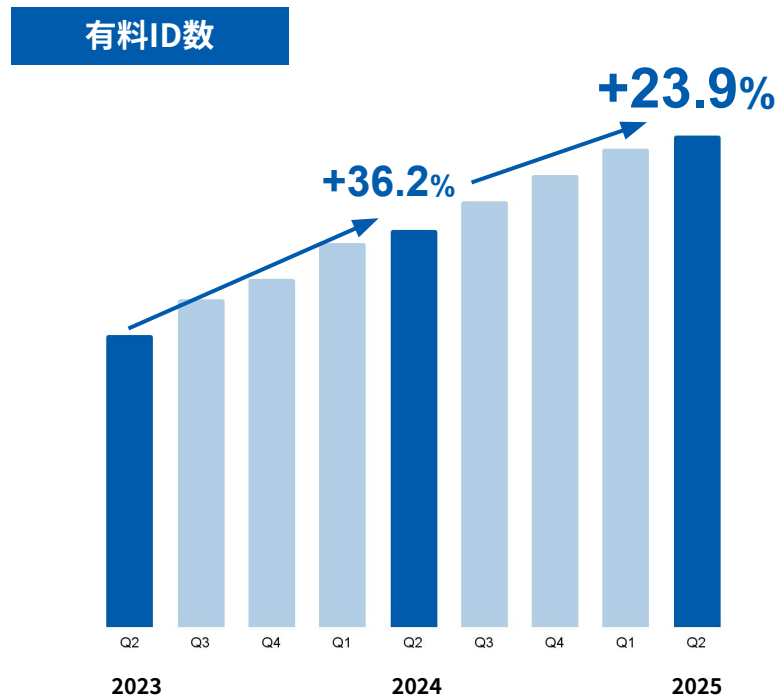
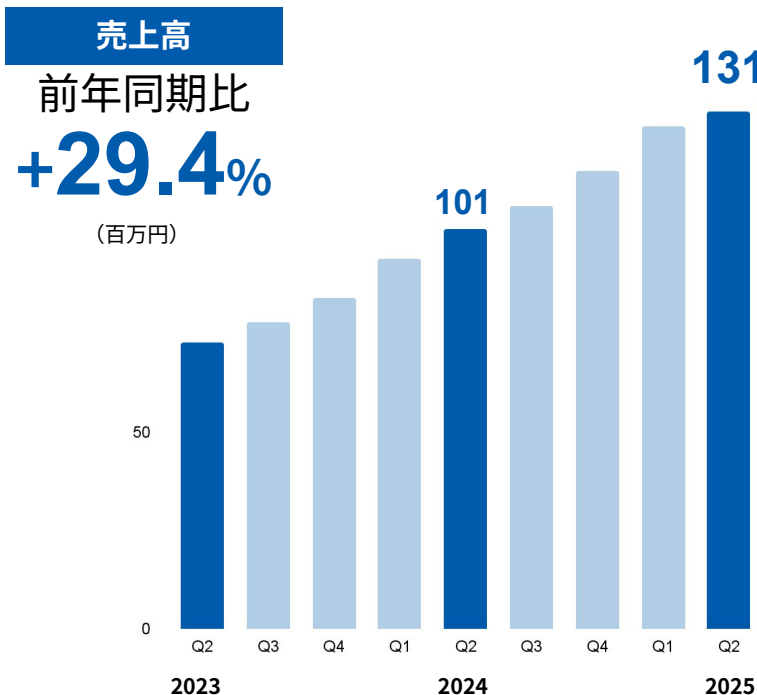
YAMADA HOMES

YKK
ap

H₂O
RETAILING

四半期売上高・有料ID数推移

・ SaaS連携強化により、高成長率を維持



SaaS連携強化



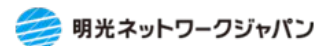
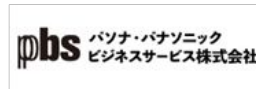
- 連携アプリ数8,000件、SAML連携数370件突破、国内IDaaS市場において**トップクラスの連携数に**
- 連携数は導入時の大きな評価軸となるため、今後も各種サービスとの**連携拡大を図る**

「GMOトラスト・ログイン for 奉行クラウド」提供開始
～1クリックで奉行クラウドにログイン、セキュリティ強化と業務効率化を支援～

GMOトラスト・ログイン
for 奉行クラウド

- 「奉行クラウド」をはじめとする基幹業務システムを開発・販売する**株式会社オービックビジネスコンサルタント**と協業

契約企業（一部抜粋）





安全なクラウド基盤の提供

クラウドインフラ事業

インターネット黎明期から続く高い技術力

※主な商材



暗号化・脆弱性診断・データ保護、あらゆるセキュリティ課題に対応した、安全なクラウド・レンタルサーバー。

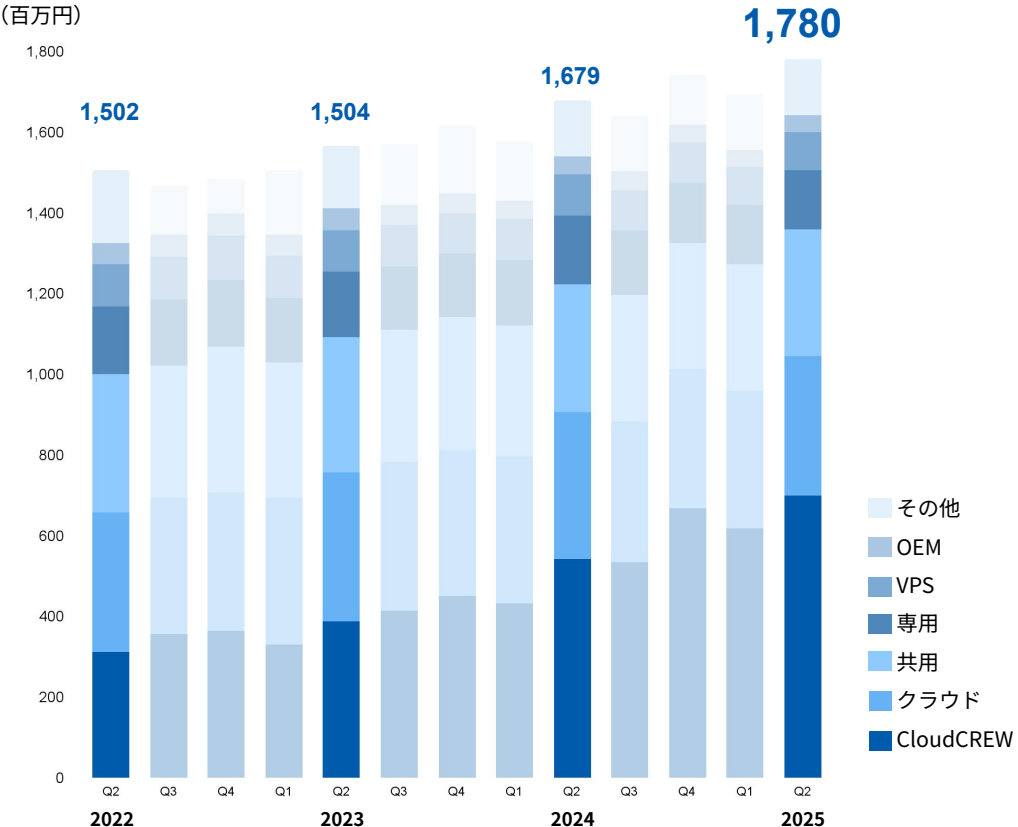


多様化するクラウド環境に柔軟に対応。AWSのスムーズな導入支援から設計・構築、監視・運用に至るすべてのフェーズで、お客さまの要件に沿ったきめ細かいサポートを実施。



国内最安級のパブリッククラウド。初めてのクラウド導入から大規模な案件まで幅広いニーズにお応え。

商材別四半期売上高推移



売上高

前年同期比

+6.0%

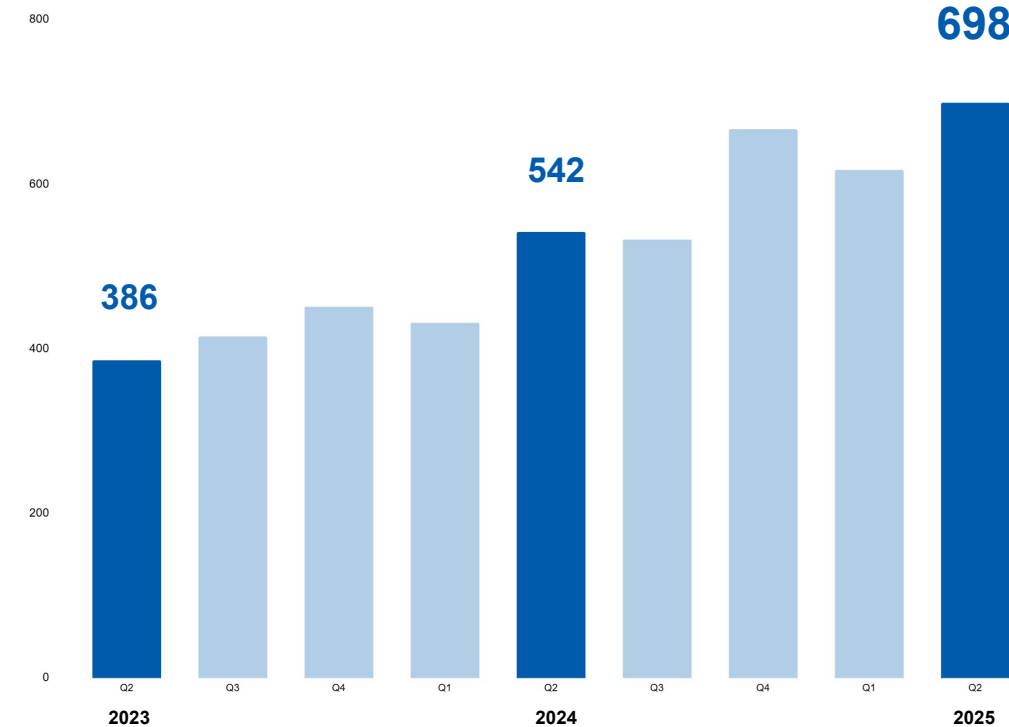
(百万円)	2024	2025	増減率
Q2	1,679	1,780	+6.0%
累計	3,255	3,474	+6.7%

あらゆるセキュリティ対策で
競合との差別化を図る

脆弱性診断・データ保護・
メールセキュリティ・VMC

四半期売上高推移

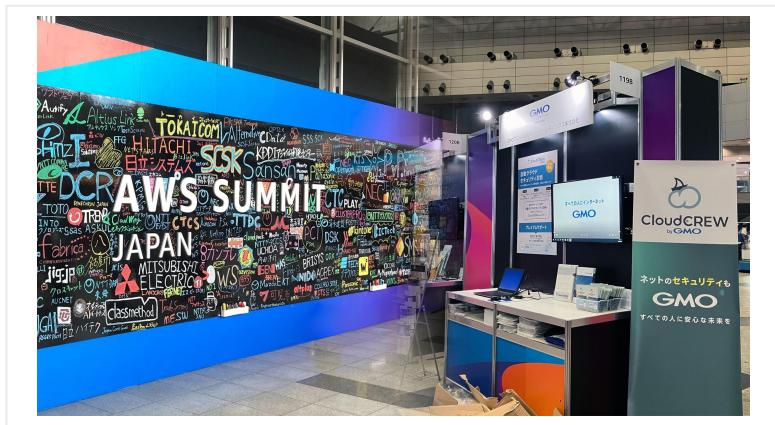
(百万円)



売上高
前年同期比
+28.8%

(百万円)	2024	2025	増減率
Q2	542	698	+28.8%
累計	974	1,315	+35.0%

トピックス



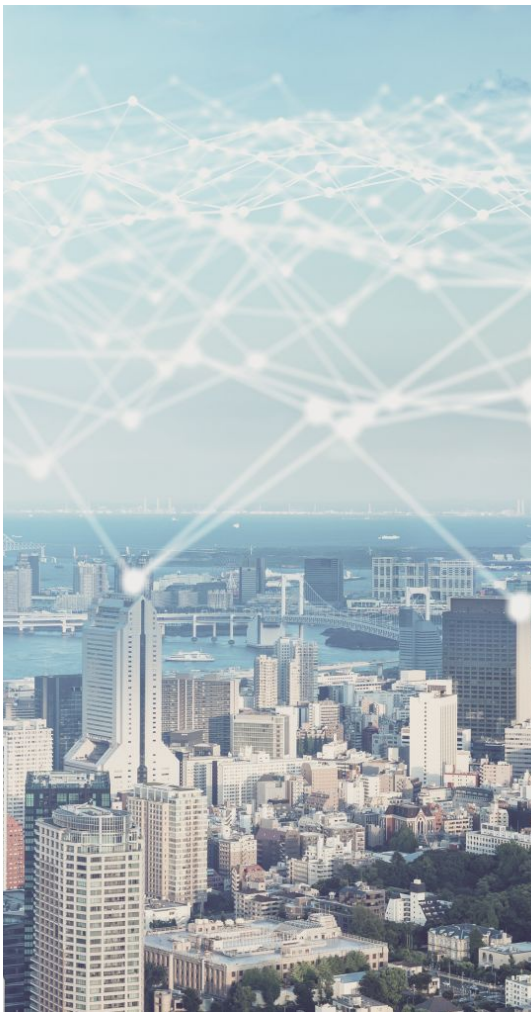
- **AWS Summit Japan 2025 にブロンズスポンサーとして出展**

会期中に多数のリードを獲得
来期の売上増加に大きく貢献する



- **国内企業としては3社目となる「AWS SMBコンピテンシー」認定を取得**

中小企業向けに信頼できるソリューション提供の証明となり、新規顧客獲得の好材料となる



企業の課題解決を支援

DX事業

企業の「業務効率化・高付加価値化」を提供

※主な商材



スマートフォンでアナログメーターを撮影するだけで、AIが数値を読み取り、自動で集計・台帳記録を実現。



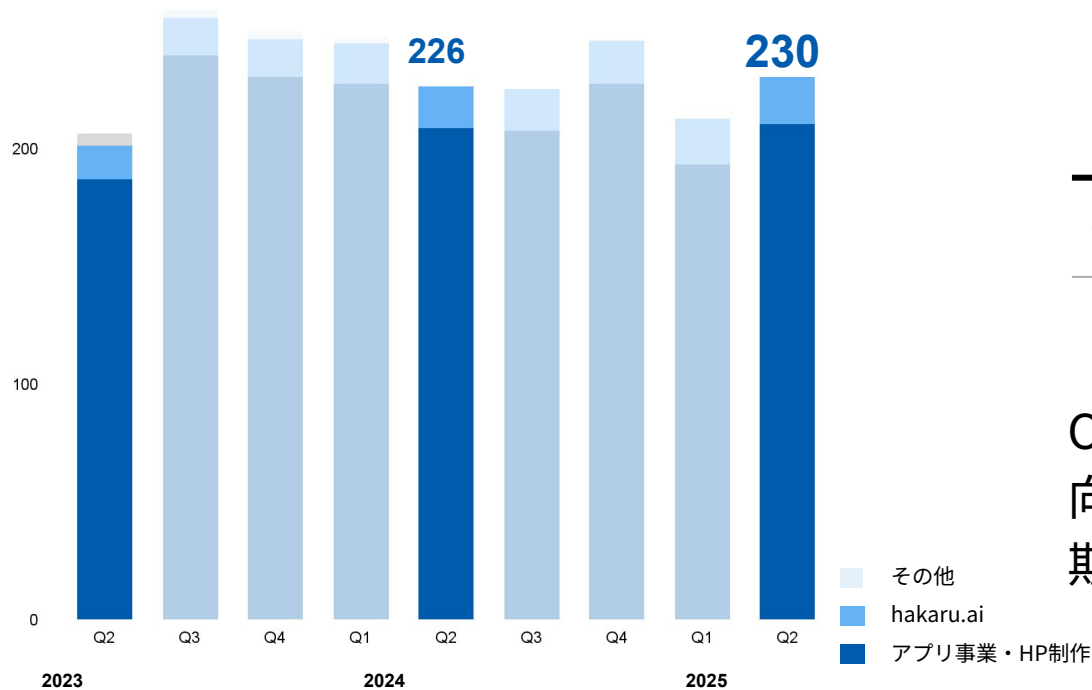
ポイントカードや会員証、クーポンなどの店舗販促ツールを電子化するアプリ制作サービス。自由度が高いのに低価格、サポート充実で制作から運用まで安心してお任せ。



ハウス電子マネーや企業が発行する紙の商品券などの電子化を支援するオンラインサービス。発行や運用に関する業務の効率化、利用者の利便性や満足度の向上、地域活性化に貢献。

四半期売上高推移

(百万円)



売上高

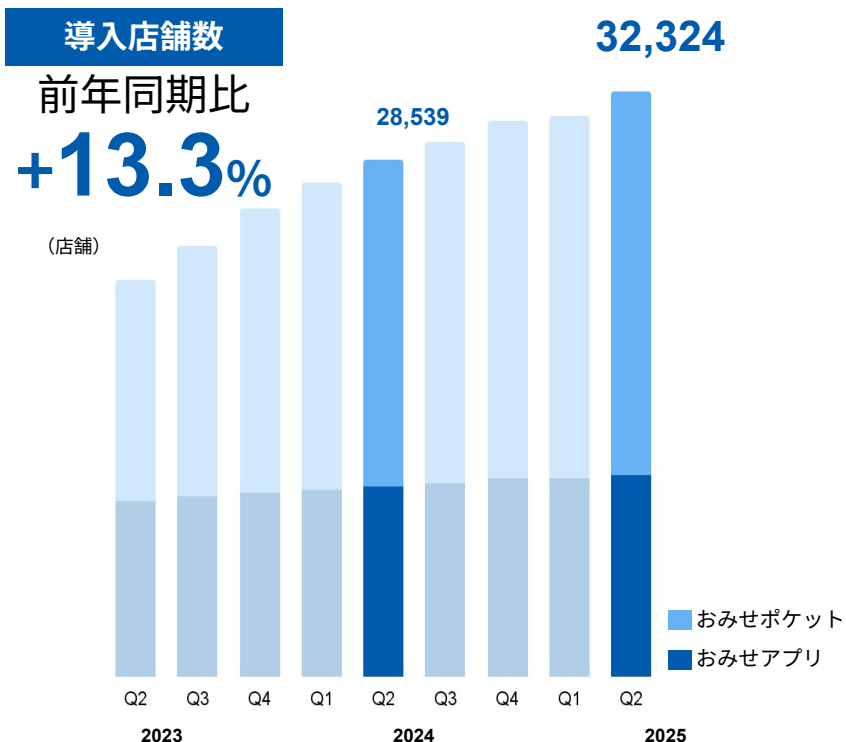
前年同期比

+1.8%

(百万円)	2024	2025	増減率
Q2	226	230	+1.8%
累計	473	443	△6.4%

020アプリ事業における自治体
向け案件の期ズレ要因のため半
期累計では減収

KPI推移



競業の少ない特定業界向け（宿泊業・自動車業界 など）カスタマイズにより、差別化を図る

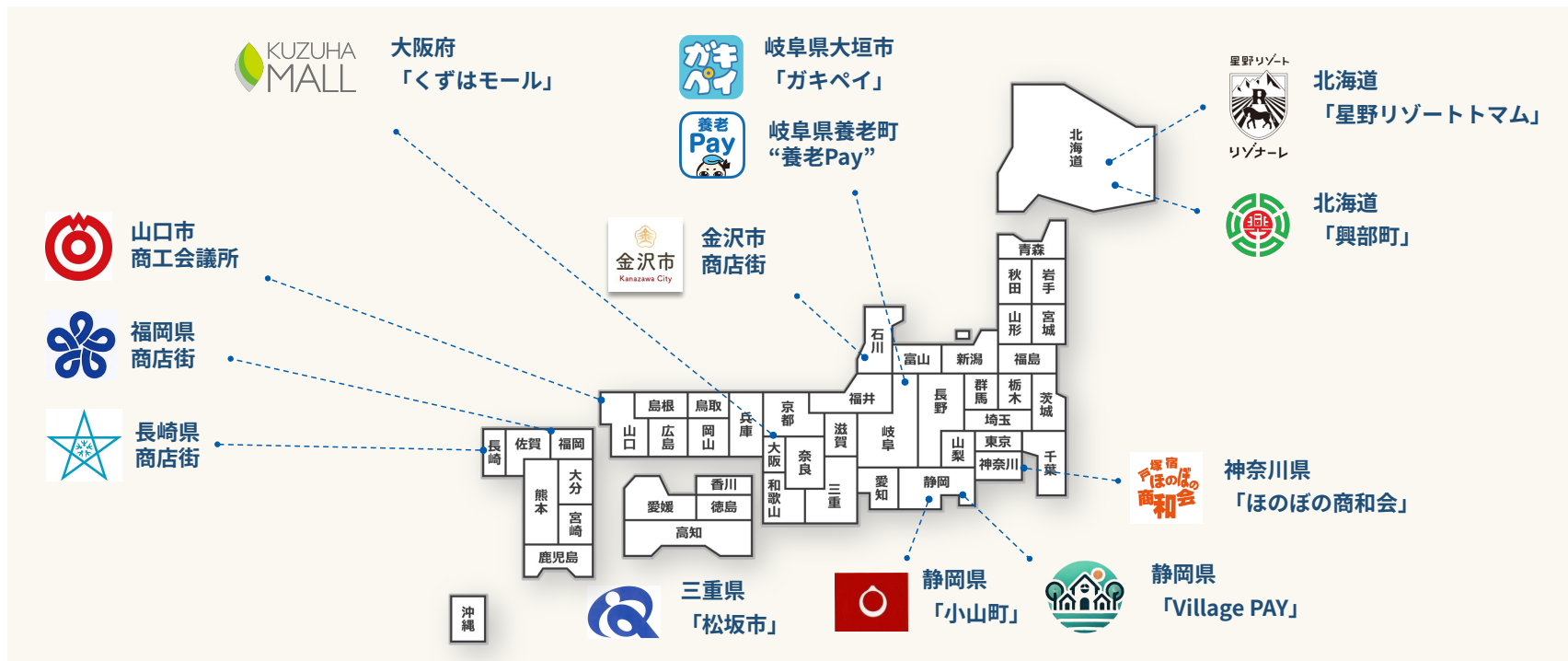
クーポンや会員証をデジタル化
ホテルで選ばれている
公式アプリ制作サービス

- ✓ 販促コストを削減
- ✓ リピートを増やす
- ✓ 顧客満足を高める



地方経済の活性化へ貢献

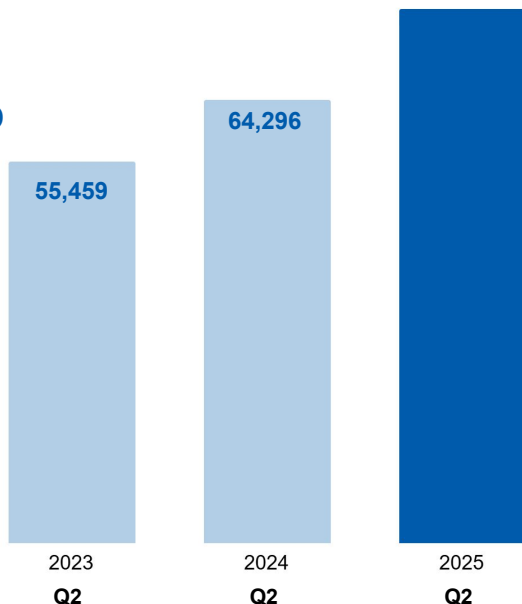
「マイナンバーカード認証機能」を追加し、さらに安全性の高いデジタル通貨に



導入実績

- ・ビルメンテナンス業に加え、製造業への営業を強化
- ・販売代理店専属の営業担当を配置し、新規顧客獲得を加速

登録メーター数
前年同期比
+20.7%
(台)



契約企業（一部抜粋）  株式会社 菱サ・ビルウェア

 人に、街に、明るい未来を
関電ファシリティーズ


神戸製鋼グループ


ROHM
SEMICONDUCTOR


TAISEI

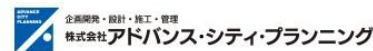

株式会社 ハリマビステム


SEiBI


BT
JF東日本ビルテック


信頼と実績の総合ビルマネジメント
NTK株式会社


JFE


企画開発・設計・施工・管理
株式会社 アドバンス・シティ・プランニング

コトをITで変えていく。



参考資料

参考資料目次

- ・ 会社概要
- ・ 事業領域（主要サービス）
- ・ 連結貸借対照表
- ・ 連結損益計算書
- ・ 通期業績予想
- ・ 通期業績予想〔セグメント別〕
- ・ 営業利益増減分析
- ・ 販売管理費及び一般管理費の四半期推移
- ・ Q2セグメント別予想対比
- ・ 電子認証局はインターネットセキュリティのカナメ
- ・ 免責事項

企業理念

コトをITで変えていく。

ITのチカラで私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。
それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

会社名	GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード	3788（東証プライム）
設立	1997年5月 株式会社アイル
事業内容	電子認証・印鑑事業（盗聴・改ざん・なりすまし防止・ログイン認証強化、電子契約） クラウドインフラ事業（クラウド・レンタルサーバー、ネットワークエンジン） DX事業（O2Oアプリ、IoT関連）
親会社	GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム：9449）被持株比率51.97%※ ※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結12社（国内5社、海外7社）非連結3社（2024年12月末現在）
パートナー数	1,009名（2025年3月末現在）非連結含

事業領域（主要サービス）

セキュリティでインターネットの安全を支える

電子認証・印鑑事業

電子認証・ID管理



電子印鑑なら
GMOサイン

GMOトラスト・ログイン

クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤の提供



GMO CLOUD



AI・クラウド活用で 企業のDXを支援する

DX事業

より便利で簡単な
AI・クラウドサービスの提供



モバイル商品券
プラットフォーム
by GMO



連結貸借対照表

単位：百万円	2024年12月末	2025年6月末	増減率
流動資産	11,948	11,907	△0.4%
（現金預金）	8,459	8,488	+0.3%
（売掛金及び契約資産）	2,647	2,472	△6.6%
固定資産	6,078	5,920	△2.6%
（ソフトウェア）	4,056	3,972	△2.1%
（投資有価証券）	302	295	△2.3%
資産合計	18,027	17,828	△1.1%
負債	8,539	8,553	+0.2%
（契約負債）	2,754	2,799	+1.6%
（借入＋リース債務）	3,016	3,169	+5.1%
純資産	9,487	9,275	△2.2%
（株主資本）	7,649	7,635	△0.2%
（その他包括利益）	1,811	1,612	△10.9%
（非支配株主持分）	26	26	1.1%
負債・純資産合計	18,027	17,828	△1.1%

連結損益計算書

単位：百万円	2024年Q2	2025年Q2	増減率
売上高	9,566	9,944	+4.0%
売上原価	3,740	4,073	+8.9%
売上総利益	5,825	5,870	+0.8%
販売費及び一般管理費	5,080	5,276	+3.9%
（人件費）	2,924	2,997	+2.5%
（プロモーション費）	596	660	+10.7%
（減価償却費）	377	390	+3.5%
営業利益	744	593	△20.2%
（営業利益率）	7.8%	6.0%	—
経常利益	810	577	△28.7%
税金等調整前当期純利益	775	577	△25.5%
法人税等	264	162	△38.7%
親会社に帰属する当期純利益	507	413	△18.5%

通期業績予想

「セキュリティ」を軸として、重点商材を中心に全セグメントで成長拡大を目指す

(百万円)	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
売上高	19,166	20,397	+ 6.4%
営業利益	1,246	1,434	+ 15.1%
経常利益	1,297	1,422	+ 9.6%
親会社帰属利益	854	880	+ 3.0%
1株当たり 純利益(円)	73.08	75.27	-

通期業績予想〔セグメント別〕

売上高			
セグメント	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
電子認証・ 印鑑	12,120	13,142	+8.4%
クラウド インフラ	6,634	6,906	+4.1%
DX	944	1,054	+11.6%
消去又は 全社	△533	△704	—
連結計	19,166	20,397	+6.4%

営業利益			(百万円)
セグメント	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
電子認証・ 印鑑	1,151	1,332	+15.7%
クラウド インフラ	154	164	+6.4%
DX	△72	△56	—
消去又は 全社	13	△5	—
連結計	1,246	1,434	+15.1%

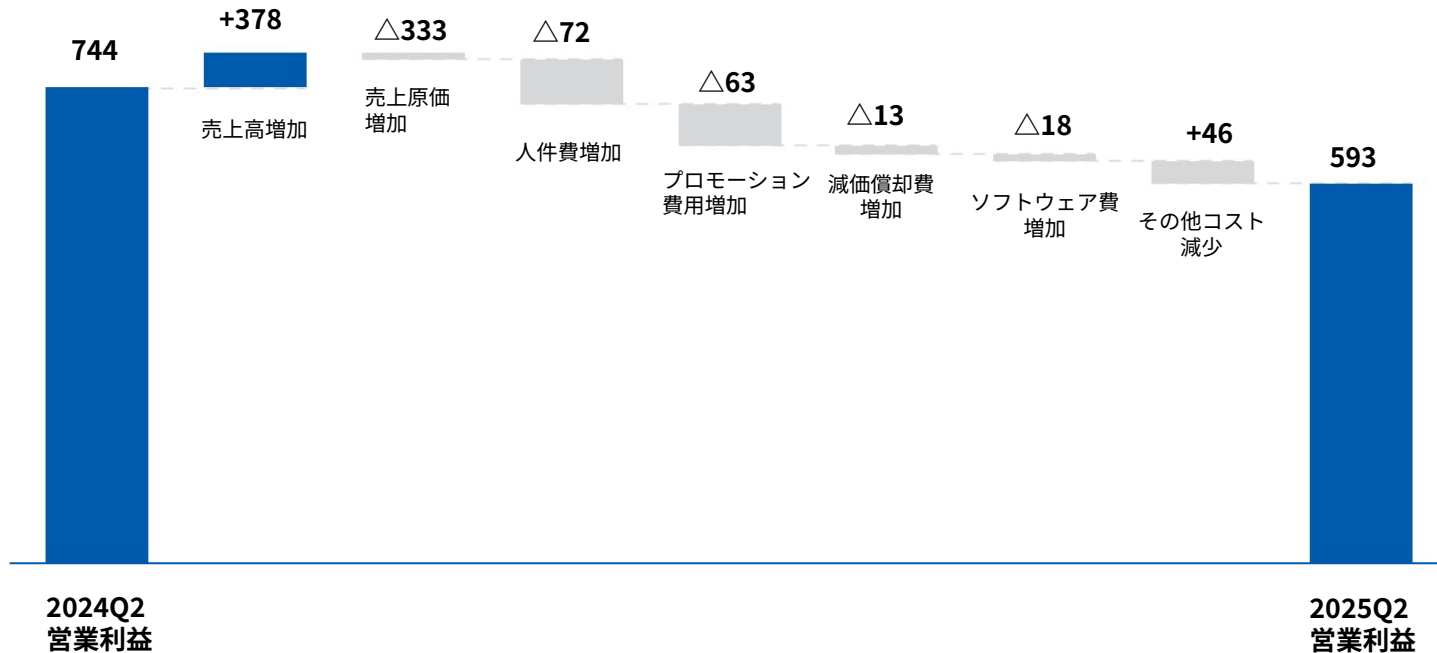
2025年Q2 セグメント別四半期比較（累計）

- ・ 電子認証局の新プラットフォーム開発等コスト増加により、セグメント利益が減益
- ・ 年度内に開発拠点変更によるコスト最適化を図り、人件費抑制を目指す

売上高				営業利益			
セグメント	2024年 Q2	2025年 Q2	前年同期比	セグメント	2024年 Q2	2025年 Q2	(百万円) 前年同期比
電子認証・ 印鑑	6,101	6,301	+3.3%	電子認証・ 印鑑	722	534	△26.0%
クラウド インフラ	3,254	3,474	+6.7%	クラウド インフラ	53	107	+101.2%
DX	473	443	△6.4%	DX	△39	△58	－
消去又は 全社	△263	△274	－	消去又は 全社	8	11	－
連結計	9,566	9,944	+4.0%	連結計	744	593	△20.2%

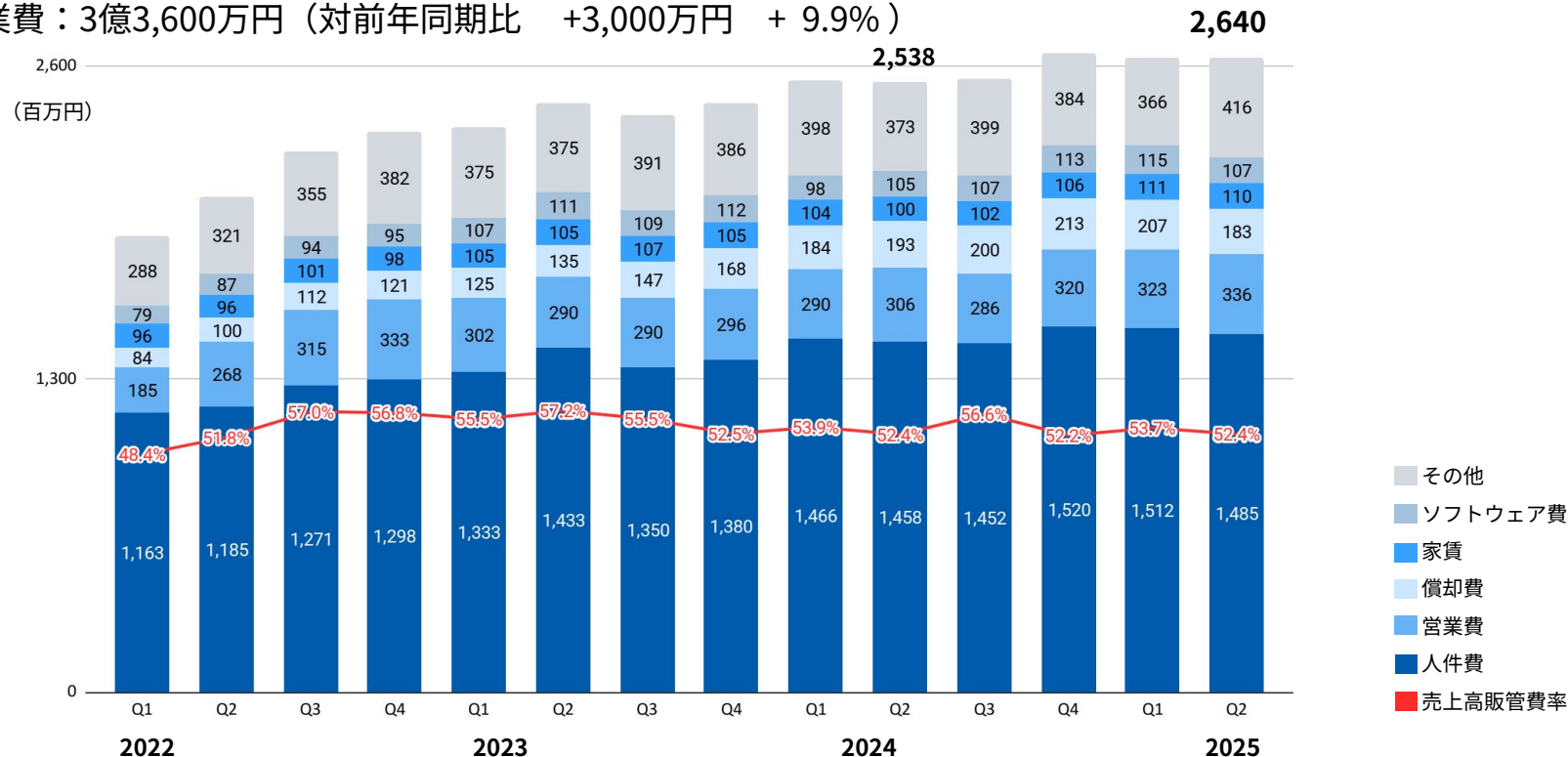
営業利益増減分析

(百万円)

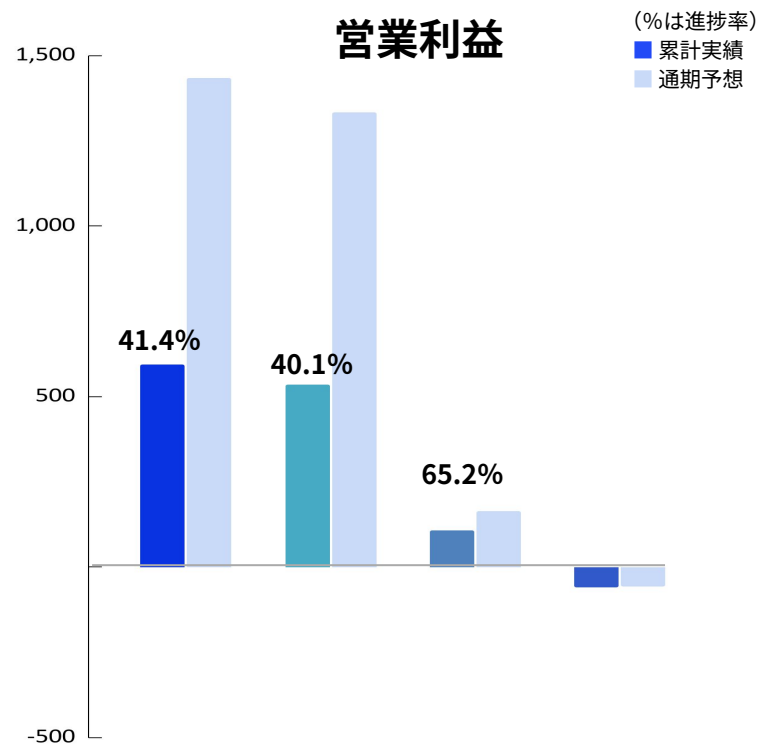
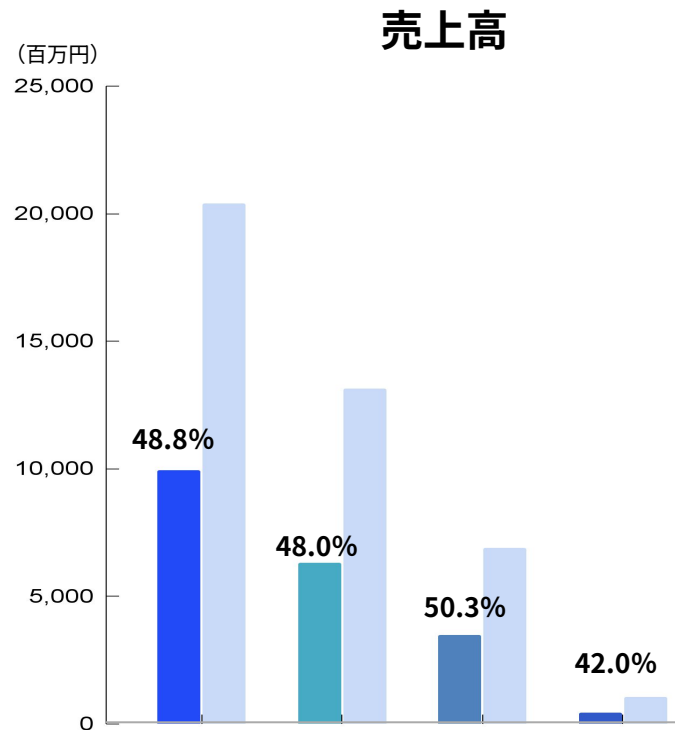


販売管理費及び一般管理費の四半期推移

- ・販管費：26億4,000万円（対前年同期比 +1億200万円 +4.0%）
 - └家賃：1億1,000万円（対前年同期比 +1,000万円 +10.6%）
 - └営業費：3億3,600万円（対前年同期比 +3,000万円 + 9.9%）



Q2セグメント別予想対比



【3分で“わかる”GMOグローバルサインHD】

3分で“わかる”
GMOグローバルサインHD
GlobalSign

GMOグローバルサイン・ホールディングス
ってなんの会社？

A. オンライン上の大切な取引や情報を守る
「インターネットの防犯システム」を提供している会社です。

インターネット黎明期の1993年、まだ多くの企業が高度なサーバーを自社で所有していた時代に、私たちは「レンタルサーバー」という新しい仕組みを日本で初めて提供しました。
それから、GMOグローバルサイン・ホールディングスの原点です。

以来、私たちはクラウド・レンタルサーバーの運用で培った高度な技術と、国内シェアNo.1を誇るSSLサーバー証明書をはじめとする電子認証技術（盗聴や改ざんを防ぐ暗号セキュリティの基盤）を強みに、契約や運用といった“見えなけれど重要な”インターネットの安全を支えてきました。
現在では、こうした基盤技術と世界13か国に広がる拠点を活用し、さまざまな業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）を支えるセキュリティソリューションを展開しています。

私たちはGMOグローバルサイン・ホールディングスでは、インターネットの安全と安心が、社会にとって「当たり前」になる未来をこれからもつくり続けます。

企業理念 電子認証とは

数字で見る
GMOグローバルサイン・ホールディングス

ITによる社会変革と当社のあゆみ

1990年代
企業のホームページ、メールの普及
インターネット黎明期の1993年、まだ多くの企業が高度なサーバーを自社で所有していた時代に、私たちは「レンタルサーバー」という新しい仕組みを日本で初めて提供しました。
それから、GMOグローバルサイン・ホールディングスの原点です。

2000年代
ホームページの防犯ニーズが高まり、企業の認証が必須に
SSLサーバー証明書が企業の必須となり、企業のホームページが盗聴や改ざんから守られるようになりました。また、SSL証明書が企業の信頼の証となり、企業の認証が必須となりました。

2010年代
企業にIT導入が進み、仕事の効率化で活用されるように
インターネットが広く利用されるようになったことで、企業も業務の効率化のために導入するようになりました。また、インターネットが広く利用されるようになったことで、企業も業務の効率化のために導入するようになりました。

2020年代
[コロナ禍]テレワークのニーズが急増、安全に遠隔で仕事ができる仕組みを提供
2020年に新型コロナウイルス感染症が流行し、多くの企業がテレワークを導入しました。また、リモートワークが普及したことで、企業も業務の効率化のために導入するようになりました。また、リモートワークが普及したことで、企業も業務の効率化のために導入するようになりました。

フィッシング詐欺、なりすまし対策、メールも確かな送信先を証明する時代へ
フィッシング詐欺やなりすまし対策といった課題が顕在化し、メールの送信先を証明する仕組みが求められました。GMOグローバルサインは、こうした課題に対応するため、メールの送信先を証明する仕組みを提供しています。

私たちもあゆみインターネット

当社は、「すべての人に"信頼"を届ける」ことを使命に、サイバーセキュリティ領域で事業を展開しています。

当社がどのような企業なのか、何を強みとし、どんな未来を目指しているのかを、はじめての方にもわかりやすく3分でご紹介しています。

電子認証、電子契約、ログイン管理など、社会インフラとして重要性が増すサービスを国内外で提供しながら、安心・安全なデジタル社会の実現に向けて日々進化を続けています。

すべてのステークホルダーの皆さまに信頼していただける企業であるために、これからも誠実に、着実に歩んでまいります。

<https://www.gmogshd.com/ir/3minute>

【電子認証局はインターネットセキュリティのカナメ】



電子認証局は、電子取引や通信の安全性を確保するために欠かせない機関です。

グローバルでシェアを持つ世界トップ4社の中で唯一の国産認証局「GlobalSign」を保有している当社の強みや、我々の身近で安全なインターネット環境を支えている電子認証局を分かりやすく紹介しています。

今後も更なる安心・安全なデジタル社会の実現を目指し、お客様に選ばれる信頼のサイバーセキュリティブランドとして一層のサービス向上に努めて参ります。

<https://www.gmogshd.com/overview/certification-authority>

免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

当資料に関するお問い合わせ先

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 社長室

お問い合わせフォーム：<https://form.gmogshd.com/contact/ir/>